

2018年度入学生用 プロダクト・インテリアデザイン学科

雑貨・インダストリアルデザインコース 履修モデル

科目名の後の()は修得できる単位数 / *必修科目 ・ #選択必修科目

		1年	2年	3年	4年
基礎 教育 科目	芸術工学 (4単位以上)	芸術工学A(神戸デザイン学)(2) 芸術工学概論B(デザインと表現)(2)			
	芸術・文化 (8単位以上)	デザイン史(2) 色彩論(2)	いとくたちの文化(2)	芸術心理学(2)	
	科学・技術 (6単位以上)	幾何学と芸術(2)	人間工学(2) 形の科学(2)	認知科学論(2)	
	人間・歴史・社会 (8単位以上)		日本の歴史(2) マーケティング論(2)	知的財産権入門(2) 日本民俗学(2)	
	コミュニケーション (7単位以上)	基礎英語Ⅰ(*1) 基礎英語Ⅱ(1) 日本語表現Ⅰ(1)	英語コミュニケーションⅠ(2) 表現のための英語Ⅰ(2)		
	身体・健康 (2単位以上)		健康科学(2)		
	基礎表現	コンピュータ基礎実習(2) コンピュータ基礎表現(4) デザイン基礎実習(2) デッサン基礎実習(2) スタディスキルズ(1)			
	社会参加・キャリア形成	キャリアデザインA(2)	キャリアデザインB(2)		
学 科 目	学科共通科目	プロダクト・インテリアデザイン概論(*2) プロダクト・インテリアデザイン実習Ⅰ(*3) プロダクト・インテリアデザイン実習Ⅱ(*3) 生活デザイン(2) ビジュアルテクニクⅠ(2) 雑貨・インダストリアルデザイン(2) 製図法演習(2) プロダクト・インテリアデザイン史(2) CAD基礎演習(2)	プロダクト・インテリアデザイン実習Ⅲ(*3) プロダクト・インテリアデザイン実習Ⅳ(*3) ユニバーサルデザイン(2) 生活機器デザイン(2) ビジュアルテクニクⅡ(2) 自然とデザイン(2) 福祉住環境論(2) or デジタルプレゼンテーション(2)		
	コース専門科目		インダストリアルデザイン計画(2) インターフェイスデザイン(2) 材料と加工(2)	インダストリアルデザインⅠ(#6) インダストリアルデザインⅡ(#6) インダストリアルデザイン表現法Ⅰ(4) インダストリアルデザイン表現法Ⅱ(4) エクスペリエンスデザイン(2) 雑貨の歴史とデザイン(2)	インダストリアルデザインⅢ(#2)
	特別科目	フレッシュマンセミナー(1)	デザインの現場を語る(2)	デザインリサーチ(1)	卒業研究(*10)
	自由	(基礎教育科目・学科目・他学科目・単位互換科目等から10単位以上の履修が必要。)			

◎上記モデルにもとづく各学年ごとの履修単位数一覧

卒業に必要な単位		1年	2年	3年	4年	合計
基礎	44	26	18	8	—	52
必修	14	8	6	—	—	14
選択必修	14	—	—	12	2	14
選択	32	13	18	13	—	44
卒業研究	10	—	—	—	10	10
自由	10	—	—	—	—	0
合計	124	47	42	33	12	134

※履修モデルはあくまでも目安です。またこのモデルでは履修単位数は最低限度で設定されています。これを参考にして、自分自身の4年間の学習計画を作ってください。

※基礎教育科目は、「履修モデル表の区分欄」に記載の最低単位数を合計しても、必要な44単位にはなりません。記載以上の単位を履修する必要があるの
で注意すること。なお社会参加・キャリア形成区分に指定はありませんが、単位修得した場合は基礎教育科目の必要単位数に含まれます。

※科目区分「自由」に単位をまわすときは、ひとつの授業科目の単位数を分割することはできないので注意してください。

2018年度入学生用 プロダクト・インテリアデザイン学科

カーデザインコース 履修モデル

科目名の後の()は修得できる単位数 /*必修科目・#選択必修科目

		1年	2年	3年	4年
基礎 教育 科目	芸術工学 (4単位以上)	芸術工学A(神戸デザイン学)(2) 芸術工学概論B(デザインと表現)(2)			
	芸術・文化 (8単位以上)	デザイン史(2) 色彩論(2)	いとのかたちの文化(2) 芸術心理学(2)	日本美術史(2) 西洋美術史(2)	
	科学・技術 (6単位以上)	幾何学と芸術(2)	人間工学(2) 形の科学(2)	認知科学論(2)	
	人間・歴史・社会 (8単位以上)		人文地理学(2) マーケティング論(2) 現代社会論(2)	知的財産権入門(2)	
	コミュニケーション (7単位以上)	基礎英語Ⅰ(*1) 基礎英語Ⅱ(1) 日本語表現Ⅰ(1)	英語コミュニケーションⅠ(2) 表現のための英語Ⅰ(2)		
	身体・健康 (2単位以上)		身体表現論(2)		
	基礎表現	コンピュータ基礎実習(2) コンピュータ基礎表現(4) デザイン基礎実習(2) デッサン基礎実習(2) スタディスキルズ(1)			
	社会参加・キャリア形成	キャリアデザインA(2)	キャリアデザインB(2)		
学 科 目	学科共通科目	プロダクト・インテリアデザイン概論(*2) プロダクト・インテリアデザイン実習Ⅰ(*3) プロダクト・インテリアデザイン実習Ⅱ(*3) 生活デザイン(2) ビジュアルテクニクⅠ(2) 雑貨・インダストリアルデザイン(2) 製図法演習(2) プロダクト・インテリアデザイン史(2) CAD基礎演習(2)	プロダクト・インテリアデザイン実習Ⅲ(*3) プロダクト・インテリアデザイン実習Ⅳ(*3) ユニバーサルデザイン(2) 生活機器デザイン(2) ビジュアルテクニクⅡ(2) 自然とデザイン(2)		
	コース専門科目		インダストリアルデザイン計画(2) インターフェイスデザイン(2) 材料と加工(2)	インダストリアルデザインⅠ(#6) インダストリアルデザインⅡ(#6) インダストリアルデザイン表現法Ⅰ(4) インダストリアルデザイン表現法Ⅱ(4) エクスペリエンスデザイン(2)	インダストリアルデザインⅢ(#2)
	特別科目	フレッシュマンセミナー(1)	デザインの現場を語る(2)	デザインリサーチ(1)	卒業研究(*10)
	自由	(基礎教育科目・学科目・他学科目・単位互換科目等から10単位以上の履修が必要。)			

◎上記モデルにもとづく各学年ごとの履修単位数一覧

卒業に必要な単位		1年	2年	3年	4年	合計
基礎	44	26	22	8	—	56
必修	14	8	6	—	—	14
選択必修	14	—	—	12	2	14
選択	32	13	16	11	—	40
卒業研究	10	—	—	—	10	10
自由	10	—	—	—	—	0
合計	124	47	44	31	12	134

※履修モデルはあくまでも目安です。またこのモデルでは履修単位数は最低限度で設定されています。これを参考にして、自分自身の4年間の学習計画を作ってください。

※基礎教育科目は、「履修モデル表の区分欄」に記載の最低単位数を合計しても、必要な44単位にはなりません。記載以上の単位を履修する必要があるの
で注意すること。なお社会参加・キャリア形成区分に指定はありませんが、単位修得した場合は基礎教育科目の必要単位数に含まれます。

※科目区分「自由」に単位をまわすときは、ひとつの授業科目の単位数を分割することはできないので注意してください。

2018年度入学生用 プロダクト・インテリアデザイン学科

家具・スペースデザインコース 履修モデル

科目名の後の()は修得できる単位数 / *必修科目 ・ #選択必修科目

		1年	2年	3年	4年
基礎 教育 科目	芸術工学 (4単位以上)	芸術工学A(神戸デザイン学)(2) 芸術工学概論B(デザインと表現)(2)			
	芸術・文化 (8単位以上)	デザイン史(2) 色彩論(2)	いとのかたちの文化(2) 芸術心理学(2)	西洋美術史(2)	
	科学・技術 (6単位以上)	幾何学と芸術(2)	人間工学(2) 形の科学(2)		
	人間・歴史・社会 (8単位以上)		人文地理学(2)	知的財産権入門(2) マーケティング論(2) 日本民俗学(2)	
	コミュニケーション (7単位以上)	基礎英語Ⅰ(*1) 基礎英語Ⅱ(1) 日本語表現Ⅰ(1)	英語コミュニケーションⅠ(2) 表現のための英語Ⅰ(2)		
	身体・健康 (2単位以上)		身体表現論(2)		
	基礎表現	コンピュータ基礎実習(2) デザイン基礎実習(2) デッサン基礎実習(2) 工芸基礎実習(2) スタディスキルズ(1)	コンピュータ基礎表現(4)		
	社会参加・キャリア形成	キャリアデザインA(2)	キャリアデザインB(2)		
学 科 目	学科共通科目	プロダクト・インテリアデザイン概論(*2) プロダクト・インテリアデザイン実習Ⅰ(*3) プロダクト・インテリアデザイン実習Ⅱ(*3) 生活デザイン(2) ビジュアルテクニクⅠ(2) 製図法演習(2) プロダクト・インテリアデザイン史(2) CAD基礎演習(2)	プロダクト・インテリアデザイン実習Ⅲ(*3) プロダクト・インテリアデザイン実習Ⅳ(*3) ユニバーサルデザイン(2) 家具・インテリアデザイン(2) ビジュアルテクニクⅡ(2) 自然とデザイン(2) 福祉住環境論(2)		
	コース専門科目		インテリア製図Ⅰ(4) 材料と加工(2) 照明デザイン(2)	インテリアデザインⅠ(#6) インテリアデザインⅡ(#6) インテリア製図Ⅱ(4) 家具・設備計画(2) インテリア表現法(2) 木工技法演習(2) or ヒト・モノ・空間を測る(2)	インテリアデザインⅢ(#2)
	特別科目	フレッシュマンセミナー(1)	デザインの現場を語る(2)	デザインリサーチ(1)	卒業研究(*10)
	自由	(基礎教育科目・学科目・他学科目・単位互換科目等から10単位以上の履修が必要。)			

◎上記モデルにもとづく各学年ごとの履修単位数一覧

卒業に必要な単位		1年	2年	3年	4年	合計
基礎	44	24	22	8	—	54
必修	14	8	6	—	—	14
選択必修	14	—	—	12	2	14
選択	32	11	20	11	—	42
卒業研究	10	—	—	—	10	10
自由	10	—	—	—	—	0
合計	124	43	48	31	12	134

※履修モデルはあくまでも目安です。またこのモデルでは履修単位数は最低限度で設定されています。これを参考にして、自分自身の4年間の学習計画を作ってください。

※基礎教育科目は、「履修モデル表の区分欄」に記載の最低単位数を合計しても、必要な44単位にはなりません。記載以上の単位を履修する必要があるの
で注意すること。なお社会参加・キャリア形成区分に指定はありませんが、単位修得した場合は基礎教育科目の必要単位数に含まれます。

※科目区分「自由」に単位をまわすときは、ひとつの授業科目の単位数を分割することはできないので注意してください。

2018年度入学生用 プロダクト・インテリアデザイン学科

ユニバーサルデザインコース 履修モデル

科目名の後の()は修得できる単位数 / *必修科目 ・ #選択必修科目

		1年	2年	3年	4年
基礎 教育 科目	芸術工学 (4単位以上)	芸術工学A(神戸デザイン学)(2) 芸術工学概論B(デザインと表現)(2)			
	芸術・文化 (8単位以上)	デザイン史(2)	いととたちの文化(2) 色彩論(2)	芸術心理学(2)	
	科学・技術 (6単位以上)	幾何学と芸術(2)	人間工学(2)	認知科学論(2)	
	人間・歴史・社会 (8単位以上)		マーケティング論(2) 現代社会論(2) or 情報とメディア(2)	知的財産権入門(2) 文化人類学(2)	
	コミュニケーション (7単位以上)	基礎英語Ⅰ(*1) 基礎英語Ⅱ(1) 日本語表現Ⅰ(1)	英語コミュニケーションⅠ(2) 表現のための英語Ⅰ(2)		
	身体・健康 (2単位以上)		健康科学(2)		
	基礎表現	コンピュータ基礎実習(2) コンピュータ基礎表現(4) デザイン基礎実習(2) デッサン基礎実習(2) スタディスキルズ(1)			
	社会参加・キャリア形成	キャリアデザインA(2)	キャリアデザインB(2)		
学 科 目	学科共通科目	プロダクト・インテリアデザイン概論(*2) プロダクト・インテリアデザイン実習Ⅰ(*3) プロダクト・インテリアデザイン実習Ⅱ(*3) 生活デザイン(2) ビジュアルテクニクⅠ(2) 雑貨・インダストリアルデザイン(2) 製図法演習(2) プロダクト・インテリアデザイン史(2) CAD基礎演習(2)	プロダクト・インテリアデザイン実習Ⅲ(*3) プロダクト・インテリアデザイン実習Ⅳ(*3) ユニバーサルデザイン(2) 生活機器デザイン(2) ビジュアルテクニクⅡ(2) 自然とデザイン(2) 福祉住環境論(2)		
	コース専門科目		インターフェイスデザイン(2) 材料と加工(2)	ユニバーサルデザインⅠ(#6) ユニバーサルデザインⅡ(#6) 生活デザイン表現法Ⅰ(4) 生活デザイン表現法Ⅱ(4) ヒト・モノ・空間を測る(2) or 雑貨の歴史とデザイン(2) エクスペリエンスデザイン(2)	ユニバーサルデザインⅢ(#2)
	特別科目	フレッシュマンセミナー(1)	デザインの現場を語る(2)	デザインリサーチ(1)	卒業研究(*10)
	自由	(基礎教育科目・学科目・他学科目・単位互換科目等から10単位以上の履修が必要。)			

◎上記モデルにもとづく各学年ごとの履修単位数一覧

卒業に必要な単位		1年	2年	3年	4年	合計
基礎	44	24	18	8	—	50
必修	14	8	6	—	—	14
選択必修	14	—	—	12	2	14
選択	32	13	16	13	—	42
卒業研究	10	—	—	—	10	10
自由	10	—	—	—	—	0
合計	124	45	40	33	12	130

※履修モデルはあくまでも目安です。またこのモデルでは履修単位数は最低限度で設定されています。これを参考にして、自分自身の4年間の学習計画を作ってください。

※基礎教育科目は、「履修モデル表の区分欄」に記載の最低単位数を合計しても、必要な44単位にはなりません。記載以上の単位を履修する必要があるの
で注意すること。なお社会参加・キャリア形成区分に指定はありませんが、単位修得した場合は基礎教育科目の必要単位数に含まれます。

※科目区分「自由」に単位をまわすときは、ひとつの授業科目の単位数を分割することはできないので注意してください。